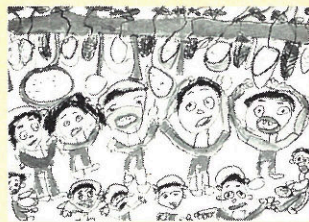




むらき えり



ながおよしひと



ながおじゅん



ふるさとへ

31

田村 繁則さん
(東京都練馬区在住)



遠きふるさと

日置町の皆さん今日は！
私は、今、東坂本出身の先輩大西七郎氏の経営している食品卸売問屋で、専務として社長とともに日夜頑張っております。

学生時代(青山学院大)には、二回に亘り、裏日本と表日本を徒歩で縦断し、通過都府県の街角で、心身障害児救済募金を呼びかけて行脚しました。集まった募金は、十数万円でしたが、(株)小学館の多大なる協賛を得て、お世話になった各都府県の心身障害児施設に「青山希望の文庫」と銘打って、数十冊ずつの図書を寄贈しました。行脚の途中でNHKの地方ニュースや新聞等にも掲載されたものでした。

又、大西七郎氏が主唱された、日本歩け歩け協会に参加した時、日本で初めて「東海自然歩道構想」の案が、厚生省国立公園課より発表されました。歩け協会の若手幹部でこの計画路線の調査と下見に行こうという事になり、後輩で東坂本出身の大西倉雄君を隊長として踏査を実施しました。その結果を報告書にまとめ、その後の東海自然歩道建設に貢献したものです。

私の出身は、畑の長瀬です。今、灌漑用水狩音ダムとなり、沈んでしまいました。その地は少年時代の佳き思い出だけが残っております。田植え、稲刈り、脱穀、粃干しと一連の稲作には、毎年引っぱり出されました。夏には、家の前の川を塞ぎ止め、小さいプールを作ったものです。魚釣りや夜ほりも

日置俳壇

〈兼題 花野〉

少女らの歓声上る花野かな
白石 敏江
想いで花野に一日日想いけ
福山スミエ
花野行く夢の亡夫の振り向か
国司ハル子
病み癒えし妻いたわりて花野
古谷 桃月
踏みつけた花をいたわり花野
塩瀬 米江
花野径カーブの度に日が沈み
高尾 凡果
カードレール越せば小さき
松岡ヨシ子
花野かな
古代より花野にお在す仏か
柚花 岩門

〈雑詠〉

船着きてそこより鳥の花芒
河内みさほ
店頭三猿饅頭今朝の秋
松岡ヨシ子
秋燈や過疎に居残る老一人
高尾 凡果
虫の音の心にひびく夜の看護
古谷 桃月
猛暑にも負けず球児の度根性
塩瀬 米江
診療を明日に短き髪洗う
白石 敏江
トンネルを出でば豊穡日置の里
国司ハル子
法被着て踊る彼女の笑顔かな
池永 君江

楽しい思い出です。

秋には、おにぎりを持ってあちこちの山に、時には峠を越えて俵山の方まで、山芋堀に出かけました。冬には、野鳥やタヌキ、キツネ用の罠を掛けました。一度だけキツネが掛かり、弟と二人でこわこわと捕えたものです。

ふるさととは、遠きにはありて想うもの、ふるさととはありがたきかな

日置を出て三十余年、いつ

筆者紹介

昭和18年生まれ。青山学院大学卒業後、就職、昭和55年から(株)ニッコンサービース勤務。現在同社専務としてご活躍中